

品質管理検定（QC検定）受験のご案内

「品質管理検定（QC検定）」は、組織で働く従業員、派遣社員等の品質管理能力の向上だけではなく、将来、就職を目指す学生の方々にも品質管理の能力を身につけていただくことを目的とし、製品や、サービスの品質改善やコストダウンの実現など、日本のものづくり・サービスにおける品質の向上に貢献するものです。

企業において働く方々に求められる品質管理の能力はそれぞれの仕事によって異なります。QC検定では、その求められる能力を4つのレベルに分類し、各レベルの能力を発揮するために必要な品質管理の知識を筆記試験で評価し、品質管理の知識レベルの認定を与えるものです。

企業での品質管理のボトムアップを図るためのツールのひとつとして、(一財)日本規格協会による「品質管理検定(QC検定)」の活用が有効です。この機会にぜひ受験を検討してみたいはいかがでしょうか？

QC検定(団体B申込)は、30名以上の受験者が集まれば、飯田会場を設定し、受験する事が可能です。また、受験料の割引もありますので、今回も今までの実績を元に受験者が集まる事を見込んで団体での申込み及び飯田会場での受験を計画しています。受験を希望される方は、別紙様式にてお申込みください。受験料納付等につきましては、お申込み後にご案内します。

■申込方法及び期限■

12月11日(水)までにE-mailまたはFAXでお申込ください。

※規格協会HPの申込期限とは日程が異なりますのでご注意ください。

■試験会場■

エス・バード(飯田市座光寺3349-1)

■試験日時■

2025年3月16日(日)

1級 13:30~15:40(マークシート90分・記述30分、途中マークシート回収時間10分)

2級 10:30~12:00(90分) 3級 13:30~15:00(90分) 4級 10:30~12:00(90分)

■注意事項■

団体申込みの場合、事務局より申込書を提出し、受験票・試験結果も一旦事務局に送付される形となります。

書類の各社到着までに時間を要する場合がございますのでご了承ください。

申込期限後のキャンセルや受験級等の変更はできません。受験料についても請求させていただきますのでご了承ください。

■受験料・運営費■ (飯田会場運営費650円を含む：消費税込) ※会場運営費に関しては、当会より補助をさせていただきます。

※下記の金額は当会場運営費を加算した後の金額となります。規格協会HP等の金額とは異なりますのでご注意ください。

※繰り返し試験制度は、第28回(2019年9月)の試験をもって終了となっています。

1級-11,100円(準1級合格済の方は1次試験免除-8,900円※)、2級-6,920円、3級-5,710円、

4級-4,500円、1級・2級併願-15,610円、2級・3級併願-10,880円、3級・4級併願-8,680円

※準1級合格済の方の対象は、直前回の準1級合格者のみです。

(受験料の領収書は規格協会より発行されますが、運営費分の領収書は発行できません。ご了承ください。)

■お知らせ■

2025年9月開催の試験から、3級・4級はコンピュータ試験(CBT)に変更される予定です。今回は従来のマークシート方式で受験できる最後の機会となるため、ぜひ受験をご検討ください。

■お問合せ先■

【事務局】高森町商工会

TEL: 0265-35-2254 FAX: 0265-35-8132 担当: 勝野

E-mail: tsci@takamori-sci.com

長野県商工会連合会南信支所 TEL: 0265-24-8406 担当: 矢澤



主催: (一財)日本規格協会・(一財)日本科学技術連盟・飯田商工会議所・長野県商工会連合会南信州支部
松川町・大鹿村・高森町・喬木村・豊丘村・阿南町・売木村・天龍村・阿智村・平谷村・根羽村・下條村・泰阜村の各商工会

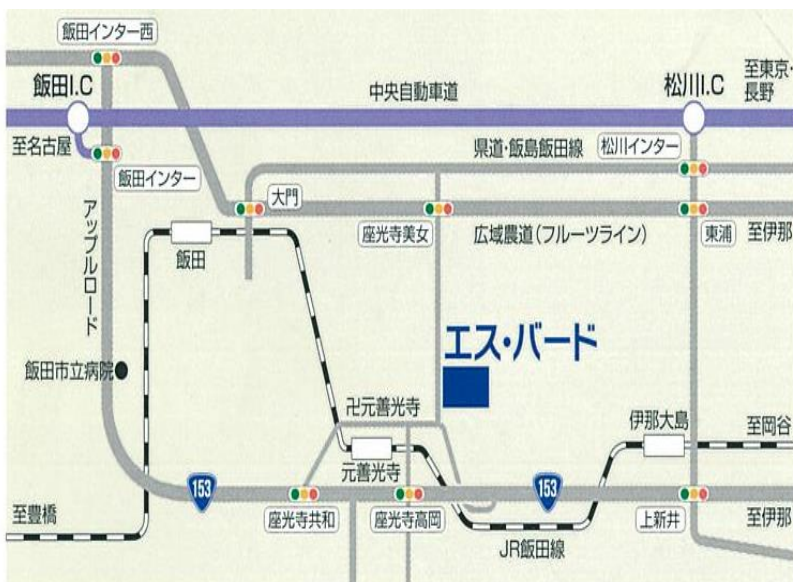
各級のレベル

級	対象となる人材像	試験の実施概要※2	合格基準
1級 ／ 準1級 ※1	●部門横断の品質問題解決をリードできるスタッフ ●品質問題解決の指導的立場の品質技術者	2級の範囲に加えて、品質管理活動のリーダーとして期待される、品質管理の手法全般、実践全般に関する理解度、並びに品質管理周辺の手法や品質管理周辺の活動としてトピック的事柄に関する基礎知識の理解度の確認	下記 a. b. c. の全てを満足した場合。 a. 一次試験(手法分野、実践分野):各分野の得点が概ね50%以上であること。及び、総合得点(手法分野+実践分野)が70%以上であること。 b. 二次試験(論述):概ね50%以上。 c. 総合得点(一次・二次試験の合計点)が概ね70%以上。
2級	●自部門の品質問題解決をリードできるスタッフ ●品質にかかわる部署の管理職・スタッフ《品質管理、品質保証、研究・開発、生産、技術》	3級の範囲に加えてそれらの活用や実践を自主的に実施するために必要とされる知識の理解度、並びに確率分布、検定・推定、相関分析・回帰分析、実験計画法、抜取検査、信頼性工学、品質機能展開、統計のプロセス管理などの基本的な事項の理解度の確認	●出題を手法分野・実践分野に分類し、各分野概ね50%以上 ●総合得点概ね70%以上
3級	●業種・業態にかかわらず自分たちの職場の問題解決を行う全社員《事務、営業、サービス、生産、技術を含むすべて》 ●品質管理を学ぶ大学生・高専生・工業高校生	4級の範囲に加えて、データの取り方やまとめ方の基本とQ7の利用、N7の基本、QC的ものの見方・考え方、管理と改善の進め方、品質、プロセス管理、問題解決、検査と試験、標準化など、基本的な管理・改善活動に関する理解度の確認	●総合得点概ね70%以上
4級	●初めて品質管理を学ぶ人 ●新入社員 ●社員外従業員 ●初めて品質管理を学ぶ大学生・高専生・工業高校生・総合高校生	品質管理、管理、改善、工程、検査、標準・標準化、データ、QC七つ道具、企業活動の基本など、企業活動における基本常識に関する理解度の確認 ※4級の問題は、“品質管理検定(QC検定)4級用テキスト Ver.3.0(4級の手引き)”(Webサイトに掲載)から出題されます。	●総合得点概ね70%以上

※1 1級試験の合格基準の内、「a. 一次試験」のみ合格基準に達していた方を、「準1級」として認めます。

※2 詳しい内容はQC検定センターWebページに掲載されている「品質管理検定レベル表 (Ver.20150130.1)」でご確認ください。

【会場案内図】



■当日の持参品（机の上に置けるもの）■

- ・受検者本人の写真添付済みの受検票
- ・黒の鉛筆又はシャープペンシル
(HB又はBに限る)・消しゴム・定規・時計
- ・√(ルート)付きの一般電卓(1～3級に限る)